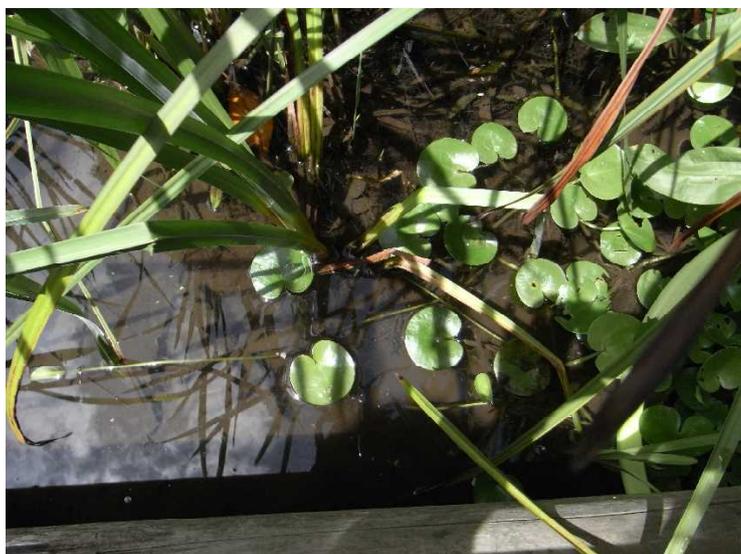


## 2014 8月のビオトープ ～ いきいき植物 トチカガミが再生しました ～



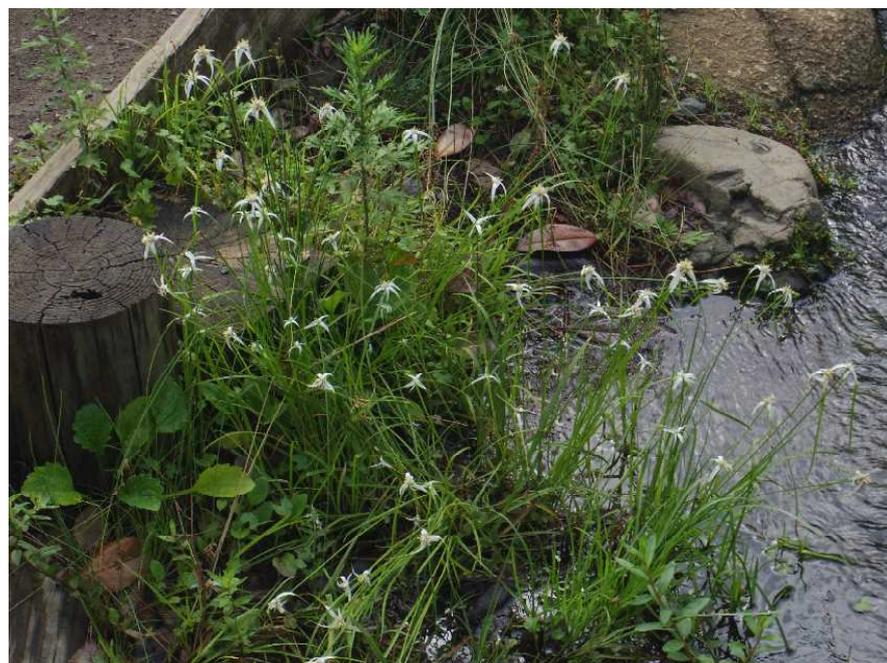
今年もザリガニが発生しました。しかし、地道な駆除活動によって、その数は昨年よりも激減しました。

そこで、2年前には池を覆い尽くすほど生息していたトチカガミを、清水小の危機分散（大切な植物が、学校でもし枯れるようなことがあったらいけないので、知識を持った方に預かっていただく場）していただいていた方から、再度戻していただきました。

初めはカゴに入れて、ザリガニの被害から守っていましたが、次第にその葉を伸ばしていき、ついにいこいの池（ビオトープ）に「トチカガミ」が戻ってきました。

上池と下池を結ぶ「せせらぎ」のところに頭頂部が白い植物「チガヤ」が夏の光の中に元気に成長していました。

その白さが涼しげで何とも言えません。



「チガヤ」は移植したものではありません。このビオトープの環境にあって、自生したものです。きっと何かの植物の根っこに種がついていたのだと思います。

温水の「夢未市」をのぞいたときに、ほんのひと株が750円で販売されていました。

大切にしないとと思いました。